§9　太陽光発電システムはすごーい

（1） 太陽光発電はクリーンな電気を供給します

- 二酸化炭素（CO_2）など環境問題を引き起こす物質を排出せず、放射性廃棄物も排出しません。
- 住宅屋根の3Kwシステム（宅地40坪程度）のCO_2排出抑制効果は、テニスコート6面分（1,000坪）の森林による効果に匹敵します。
- 発電システムのエネルギー回収期間とCO_2回収期間は共に、2年以下となっています。

（2） 太陽光発電システムは災害時、停電時にも電気を供給します。

- 太陽光発電システムには、電力会社の系統と切り離し、独自で電力を使用できる自立運転機能がついています。太陽が照っていれば停電時や災害時に活用できます。
- いざという時にあわてずに使うためには、日頃の準備、練習が大切です。まず取扱説明書などで、自立運転のしかたを確認しておきましょう。次に、実際に電灯やテレビ、冷蔵庫、電気ポット、携帯電話の充電器、電子レンジ、炊飯器などをそれぞれ接続して、稼動するかどうか確認しておきます。
- 自立運転用コンセントは1．5Kwが上限ですので、使用時は注意が必要です。また、雨天時や曇天時は、太陽光発電システムの出力が下がりますので、使用できる電気機器は小容量のものに限られます。

（3） 太陽エネルギーは枯渇しません。

- 太陽エネルギーは取り合いを生まない公平で平和なエネルギーです。この活用を増やすことで化石燃料の使用量を減らすことができます。
- 地球上に1時間降り注ぐ太陽エネルギーによって、世界の年間消費エネルギーをまかなうことができるといわれています。この豊富な太陽エネルギーを燃料とする太陽光発電は魅力と可能性にあふれています。

§10　発電量を記録してシステムの健康診断

（1） 発電をはじめたら発電量を記録しましょう。

- 太陽光発電は可動部がないので故障しにくいシステムです。ただ、実際の生活の場では思わぬトラブルが潜んでいます。屋根掃除をしたときコネクタに野球ボールが当たりパネルにヒビがはいていた、パワーコンデショナーに小動物が入り込み故障していた、などなど。
- このような場合、発電量は低下しますが、記録を取っていないと気づかないことも多いのです。

（2） 太陽光発電システムの健康診断をしましょう。

- 太陽光発電所ネットワークでは、会員のために「太陽光発電システムの健康診断」のサービスを提供しています。
- 発電量を記録していると、このサービスを使って稼動状況をチェックできます。

§11　グリーン電力の利用の推進

（1） グリーン電力を広げよう。

- 太陽光、風力、バイオマスなどの自然エネルギーで発電された電力を「グリーン電力」といいます。
- グリーン電力を普及していくと、地元で発電した（＝地産）電力を、地元で利用（＝地消）できるようになります。

（2） グリーン電力証書について

- 自然エネルギーから生まれる電気は、電力の発生と同時に環境価値をも生み出します。
- 太陽光発電の場合、発電量の内、自宅で消費した分の環境価値を証書化し、それを「グリーン電力証書」といいます。

（3） グリーン電力証書の取り引きについて

- グリーン電力証書を購入することで、使用する電力量を市是根寝るギーでまかなったと見なすことができます。
- 証書購入費用は自然エネルギー発電所に支払われ、証書購入者は自然エネルギーの普及、促進に貢献できます。
- これまでは自然エネルギーを利用したいとき、発電設備を設けるか、発電設備から直接送電するしか方法がありませんでしたが、グリーン電力証書によって、自然エネルギーの選択が広く行えるようになりました。
- グリーン電力の提供を通して、発電システムの導入促進、設置費用回収の早期化、機器の維持や発電システムの新規設置支援などができます。

（4） グリーン電力証書取り引きの仲介

- NPO法人太陽光発電所ネットワークは会員個人の住宅で発電したグリーン電力について、自家消費電力分のグリーン電力証書取り引きのお世話をしています。